

3-03 地域包括ケアシステムの充実

視 点 ●要支援、要介護状態となっても自分らしく暮らせること

3-03-01 地域包括ケアシステム

5年後の目指す姿

- 高齢者が要支援、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されています。
- 地域包括支援センターの取り組みに対する理解度が高まっています。

現 状 と 課 題

- 高齢者人口の増加に伴い、要介護状態、一人暮らし、身寄りがいない、認知症者などが増加しており、介護予防や認知症対策、見守りなどのサポート体制が必要となっています。
- 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの充実が必要となっています。

前 期 の 方 向 性

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、医療と介護を一体的に提供するために、在宅医療と介護の連携を推進していきます。
- 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられるよう認知症施策を推進していきます。
- 医療、介護のサービス提供だけでなく、NPO法人やボランティア、民間企業等の地域の多様な生活支援サービスの体制づくりを推進していきます。
- 保健、医療、福祉等の関係機関の連携に向けた取り組みなど、地域包括支援センターの役割が大きくなることから、センター機能を充実していきます。
- 地域包括支援センターの取り組みが広く理解されるよう、周知していきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
認知症サポーター養成講座受講人数 (人)	602	132	132	132	132	132
(下段累計)	3,146	3,414	3,546	3,678	3,810	3,942